

沖縄県知事 殿

沖縄県公共事業評価監視委員会
委員長 入部 綱清



令和 4 年度公共事業評価について（答申）

令和 4 年 9 月 12 日付け沖縄県諮問土第 5 号で諮問のあったみだしのことについて、下記のとおり答申します。

なお、事業の継続に当たっては、意見について十分留意していただくよう要望します。

記

1 審議結果

【再評価】

[道路事業]

- | | |
|------------------------------------|--------------|
| (1) 南部東道路（南風原知念線）道路改築事業 | : 事業継続は妥当である |
| (2) 一般県道幸地インター線インターチェンジ道路整備事業 | : 事業継続は妥当である |
| (3) 一般国道507号（八重瀬道路）道路改築事業 | : 事業継続は妥当である |
| (4) 都市計画道路 3・2・5 号県道24号線バイパス街路事業 | : 事業継続は妥当である |
| (5) 都市計画道路 3・2・6 号胡屋泡瀬線（2 工区）街路事業 | : 事業継続は妥当である |
| (6) 都市計画道路 3・2・10号豊見城中央線（4 工区）街路事業 | : 事業継続は妥当である |

[河川事業]

- | | |
|----------------|--------------|
| (7) 小波津川河川改修事業 | : 事業継続は妥当である |
| (8) 億首川河川改修事業 | : 事業継続は妥当である |

[公園事業]

- | | |
|--------------------|--------------|
| (9) 浦添大公園整備事業 | : 事業継続は妥当である |
| (10) 沖縄県総合運動公園整備事業 | : 事業継続は妥当である |
| (11) 首里城公園整備事業 | : 事業継続は妥当である |

[住宅事業]

- | | |
|---------------------------|--------------|
| (12) 県営新川・真喜良・真喜良第二団地建替事業 | : 事業継続は妥当である |
|---------------------------|--------------|

[土地改良事業]

- | | |
|-----------------------|--------------|
| (13) 真喜屋地区ため池等整備事業 | : 事業継続は妥当である |
| (14) 津堅地区水利施設整備事業 | : 事業継続は妥当である |
| (15) 新川第 4 地区水質保全対策事業 | : 事業継続は妥当である |
| (16) 吉富地区農地整備事業 | : 事業継続は妥当である |

2 主な意見

【再評価】

- (1) 南部東道路（南風原知念線）道路改築事業（4回目再評価）
 - ・地盤改良範囲の追加に関して、河川付近の地盤であれば当初からボーリング調査を実施すべきではないか。
- (2) 一般県道幸地インター線インターチェンジ道路整備事業（再々評価）
 - ・特になし。
- (3) 一般国道507号（八重瀬道路）道路改築事業（再々評価）
 - ・ハード交付金が著しく減少している現状を踏まえ、改めて優先整備区間の見直しも検討してはどうか。
- (4) 都市計画道路3・2・5号県道24号線バイパス街路事業（3回目再評価）
 - ・基地内での現地調査を実施できていないが、今後の見込みはあるのか。
- (5) 都市計画道路3・2・6号胡屋泡瀬線（2工区）街路事業（再々評価）
 - ・一括交付金は減額傾向にあるが、令和9年度までに事業を完了できる見通しはあるのか。
- (6) 都市計画道路3・2・10号豊見城中央線（4工区）街路事業（再々評価）
 - ・完了予定の令和8年度には隣接する高安工区も含めて開通できるのか。
- (7) 小波津川河川改修事業（3回目再評価）
 - ・地域が主体となった河川の維持管理に向けて、具体的な取組を進めてほしい。
 - ・多自然川づくりの評価基準として、環境DNAという水を採取するだけで生態系の復元が簡単に検証できる方法もあるので、今後検討してほしい。
- (8) 億首川河川改修事業（再々評価）
 - ・土木建築部の事業全般に言えることだが、予算が大幅に減少している現状を鑑みて、計画を変更することにも、もう少し積極的に検討してはどうか。
- (9) 浦添大公園整備事業（4回目再評価）
 - ・駐車場計画を見直すのであれば、公園利用者の属性や移動手段等を把握した上で慎重に検討する必要がある。
 - ・てだこ浦西駅のパークアンドライド駐車場を活用することも検討してはどうか。
 - ・勝連城址や中城城址は、入場料を取って地域活性化に貢献している。税収も厳しい中、利用者が負担するということも可能だと思うので、検討してほしい。

(10) 沖縄県総合運動公園整備事業（4回目再評価）

- ・ 駐車料金を徴収することも検討したほうがよいのではないか。
- ・ 世界的にも自転車競技で優秀な選手が出ており、近くの北中城高校にも自転車部ができて高校自体も活性化しているなか、ただ単に駐車場が足りないから、仮設の競技場をどこかに移設するという話ではなく、現状をしっかりと分析すると議論もしやすいと考える。
- ・ 県民のために整備された公園が、コロナ以前は恐らく県外や海外の人にも多く利用されていたと思うが、受益者負担のスキームを導入することを検討できないか。

(11) 首里城公園整備事業（4回目再評価）

- ・ 維持管理費を捻出するために、県内と県外で入場料に差をつけたり、駐車場料金を無料にしたり、外国人はさらに上乘せした料金とするなど、3段階程度の料金設定を検討してはどうか。
- ・ 本事業の予算が国から補助されているのであれば、国民は一律にその恩恵を享受できると思われるため、入場料等について差を設けることは慎重に検討した方がよい。

(12) 県営新川・真喜良・真喜良第二団地建替事業（再々評価）

- ・ 整備戸数について、今後の需要見込みや将来人口等を考慮して検討すべきでないか。

(13) 真喜屋地区ため池等整備事業（再評価）

- ・ 新たな崩壊が発生してから対策するのではなく、崩壊を未然に防ぐ対策を実施することは検討できないのか。

(14) 津堅地区水利施設整備事業（再評価）

- ・ 本事業実施により、生産者の収入はどの程度上昇するのか。
- ・ 数値化できないものを無理やり数値化するよりも、なかなか数字に表れない価値を大きな視点で考えることも必要ではないか。

(15) 新川第4地区水質保全対策事業（再評価）

- ・ 一定量の赤土を除去するのにかかるコストを計算することはできないのか。
- ・ 農地整備の経費や農家が投入した土壌改良等を積み上げるとともに、河川流域等の絞った範囲で効果を算定することにより、リアリティの高い評価に繋がると思うが、検討できないか。

(16) 吉富地区農地整備事業（再々評価）

- ・ サトウキビから野菜への転換や屋外からハウスへの転換など、県としての目標のようなものがあるのか。
- ・ 高齢者の就業率が全国一低い本県で、定年後に農業を始める人が増えることによる介護予防的な効果のほか、耕作放棄の防止や、農業労働者の環境改善等にも効果があるため、そういうところをもう少し数字的に出して評価してはどうか。